



日本電子機械工業会規格  
Standard of Electronic Industries Association of Japan

**EIAJ CP-2201**

**AMステレオ放送受信機試験方法**  
**Methods of Measurement on Receivers**  
**for Amplitude Modulated Stereophonic**  
**Sound-Broadcasting Emissions**

1994年3月制定

作 成

オーディオ技術委員会  
Technical Committee on Audio Equipment and Systems

発 行

社団法人 日本電子機械工業会  
Electronic Industries Association of Japan

## 目 次

	ページ
1. 適用範囲 .....	1
2. 試験についての一般規定 .....	1
2.1 ステレオ標準試験変調 .....	1
2.2 ステレオ標準試験信号 .....	2
2.3 ステレオ標準測定状態 .....	2
3. 測定回路とフィルタ .....	2
3.1 測定回路 .....	2
3.2 フィルタ .....	2
4. 感度 .....	3
4.1 S N 比, 聴感補正 S N 比 .....	3
(1) S N 比 .....	3
(2) 聴感補正 S N 比 .....	3
4.2 ステレオ動作レベル .....	4
4.3 ステレオ動作表示レベル .....	4
5. 忠実度 .....	4
5.1 変調周波数を変えたときのひずみ .....	4
5.2 変調率を変えたときのひずみ .....	5
5.3 入力信号レベルを変えたときのひずみ .....	6
5.4 ステレオ同一性 .....	7
5.5 位相差特性 .....	8
5.6 チャネル間出力差 .....	9
5.7 漏話減衰量 .....	10
5.8 変調周波数を変えたときの分離度 .....	11
5.9 入力信号レベルを変えたときの分離度 .....	12
5.10 受信周波数を変えたときの分離度 .....	13
5.11 周波数特性 .....	14
(1) 電氣的周波数特性 .....	14
(2) 音響的周波数特性 .....	15
6. その他の動作特性 .....	16
6.1 パイロット信号の漏れレベル .....	16
6.2 25 Hz の振幅変調による誤動作 .....	17
6.3 ステレオロックレンジ .....	17
解説 .....	18

## 日本電子機械工業会規格

## A M ステレオ放送受信機試験方法

Methods of Measurement on Receivers for Amplitude  
Modulated Stereophonic Sound-Broadcasting Emissions

1. 適用範囲 この規格は、郵政省令平成4年第4号「中波放送に関する送信の標準方式」で定めるステレオフォニック放送（以下、AMステレオ放送という。）を受信するAMステレオ放送受信機（以下、受信機という。）の性能を比較評価するためのステレオ特有の試験方法について規定する。一般的な項目についてはJIS C 6102（AM放送受信機試験方法）によるものとする。

備考 この方式は、電気通信技術審議会の答申では「両立性直交振幅変調方式」と記されている。これは英語名 Compatible Quadrature Amplitude Modulation system の訳語であり通常C-QUAM方式と略称されている。

## 2. 試験についての一般規定

2.1 ステレオ標準試験変調 ステレオ標準試験変調の変調周波数及び変調率は次のとおりとする。

変調周波数 1 kHz（又は400Hz）

変調率 30%（和信号による振幅変調及び差信号による搬送波の位相変調）

5%（パイロット信号による位相変調）

AMステレオの変調信号の区分及び標準試験変調時の変調方式と変調率は表1の通りである。

備考 和信号 左側信号と右側信号の和の信号

差信号 左側信号と右側信号の差の信号

表 1

変調モード	和信号による 振幅変調 (%)	差信号による 位相変調 (%)	パイロット信号による 位相変調 (%)	備考
同相 (R=L)	30	0	5	左右チャンネル 同レベル, 同位相 同時変調
左 (L)	15	15	5	右チャンネル無変調
右 (R)	15	15	5	左チャンネル無変調
逆相 (R=-L)	0	30	5	左右チャンネル 同レベル, 逆位相 同時変調